

## 令和3年度 第7回・研究授業 5年2組 社会

日時：令和4年3月10日（水） 13：50－14：35

場所：5年2組教室

指導者：5年2組・担任 T.S.教諭

単元名：「環境をともに守る」

講師：国土舘大学体育学部こどもスポーツ教育学科 澤井 陽介 教授

【導入】

この前グーグル・アースで確認した北九州市ですが、もう一度動画を見て確認してみましょう。  
昔の北九州市の空や海は、どんな様子でしたか？



NHK for School「四大公害病①」を視聴

ロイノートで画像を配信し、年表の空欄部分について考えさせる。



「1950年に被害が出るようになって、1980年には魚が見られるようになり、空もきれいになった。この30年の間に何があった？」

【シンキング・サイクル：課題の設定】

北九州市の空や海をきれいにするために「誰が」「どのような」取組を行ったのか調べよう。では、まずは予想から！



北九州市の偉い人がお金をたくさん支払ってきれいにする人を雇った。

誰かが工場の水をきれいにする機械を作った。



[その他の意見]

○海の汚いところを壁で囲って埋め地にした。

○町の人が大掃除をしてきれいにした。

○国や市町村が厳しく取り締まり、法律みたいなもの、条例？、を作った。

「ここから、5枚のカードを配るので、その5枚を起こった順番に並べ替えてみましょう。」

○国「公害対策基本法」 ○市「公害の話し合い」 ○市と工場「条例をつくる」

○市「汚れの掃除」 ○「煤塵のふる町・日本一」 「理由を考えてください。」



自分で考えて並べ替えてみる。



【シンキング・サイクル：情報の収集】

「では、学習班でそれぞれの意見を確認してください。」



白、緑、赤・・・。

白、緑、黄色、赤、青だよ。北九州市と話し合って、条例を作って・・・。



一番最初は白、次が緑、次がピンク！  
黄色！ 青だよ！

「ここは分かれた  
ね?! どうしてこ  
うなった?」

「話し合ったら、す  
ぐ行動すると思っ  
たからです。」



「普通は法律ができてから条例とか出されるからです。」

次は? 青の人!

「面倒くさい人を動  
かすには法律しかな  
いから!」

黄色です。法律を作ってやるのはかまわな  
いけど、さっさとやらないと命が危ないから。  
即行動です。



「では、答えを確認してみましょう!」



「えー！ そうなんだ！」



まず、緑「話し合い」。白、「条例（ピンク）」、「法律（青）」、「工事（黄色）」でした！ 何でここに白が入るの？

まず、市町村の動きは早かった。被害が出始めたところで動いていたんです。実は、これより前に動き出していた人がいるんです。取組のきっかけは何でしょうか？ 新しいカードを送りました。学習班で相談して、誰がどんなことをやったか、考えてください。

【シンキング・サイクル：整理・分析】



じゃあ、みんなの意見を確認してみましよう。「市長に連絡。」 誰が？ 誰が市長に連絡したの？



遺族が訴えたの  
では？

一般人？

T「資料を見てください。動き出したのは誰？」

S「女性！」

T「婦人会です。婦人会ってことは？」

S「女の人！」

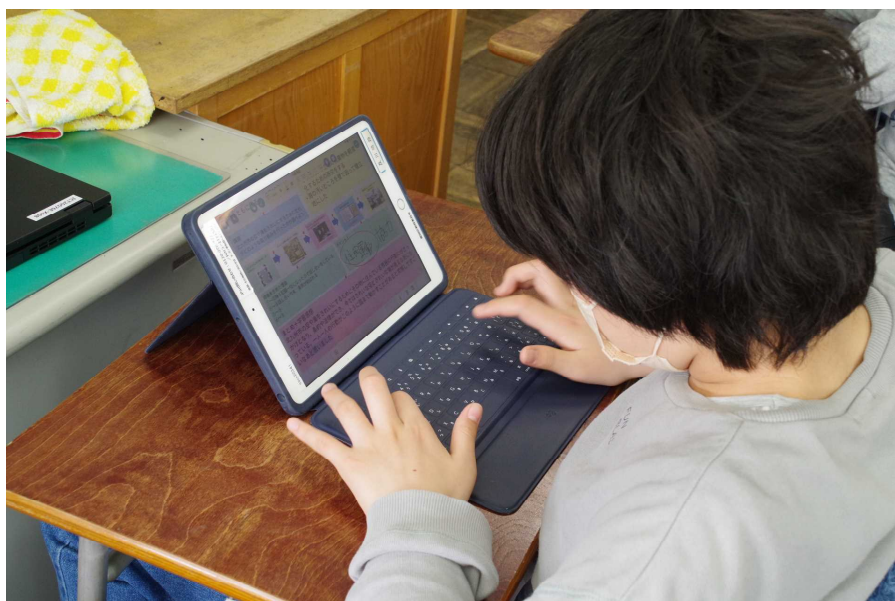
T「被害が起こったのは？」

S「学校！」 「ああ！ お母さんだ！」

T「住民運動がきっかけになって、これらの取組が行われたのです。住民と、国・市と、工場の三角関係で。」

【シンキング・サイクル：まとめ・表現】

「今日学習したことを踏まえて、振り返りを書きましょう。」



さっき、この資料を見て、ぼそっと言った人がいたの。  
1987年でこの年表は終わりでしょう。だから、次回はこれからの取組について見てみたいと思います。



### 【研究協議】



#### 《授業者自評》

- 子供のワクワクを引き出すことはできたが、資料が多かった。資料は、5年のはじめから少しずつ増やしてきた。
- デジタルノートを使った。普段の授業では、約半数が使用。残りは普通のノートを使っている。
- 子供たちの感想はよく書けていたと思う。

#### 《協議》

- 「調べる」活動で、盛り上がるグループとそうでないグループと、違いがあった。
- まとめと学習感想は分けた方がいいのでは？ → クラスに合わせたやり方でやっている。
- 意見の変容が見られた。
- デジタルノートでは、紙ではダメな子も取り組めるようになった。
- めあてを「調べる」にしたのはなぜ？ → わくわく感を求めた結果。

### 【指導・講評】 講師・国士舘大学教授 元文科相視学官 澤井陽介先生



- ICTの活用で、途中の過程が見られるようになった。「自己調整する力を養う」
- 「ふりかえり」は一斉授業では、教師の授業に対する感想しか出てこない。自己の学びが何だったのか？つまり「主体的に学習に取り組む態度」を問う。「私は今日は…」となるべき。まとめは「北九州市は…」となる。
- 資料の読み取りは、スムーズに流れるのが良いのではない。「主体的な読み取り」は試行錯誤を繰り返させること。教師がお膳立てしたことに沿って進むのは「主体的」ではない。